

カメラスケッチ



「大(Oh!)水木しげる展」好評開催中

現在、新津市美術館で「ゲゲゲの鬼太郎」などの作者として有名な漫画家・水木しげるさんの世界を紹介する「大(Oh!)水木しげる展」(4月3日⑤まで)が開催されています。

会場にはお馴染みの漫画の原画はもちろん、画家を志した若いころの絵や収集した民俗資料などが展示されており、連日多くのファンや家族連れなどが訪れ、独自の世界に魅了されています。

人気の「文化サロンスペシャル」が最終回

1月22日、毎年趣向を凝らした企画で好評の若月忠信の「文化サロンスペシャル」が最終回を迎えました。

今年度は、さまざまな方面で活躍する人と対談方式で新津の魅力を語り合おうと昨年9月から開催され、この日は「鉄道の都にいつ」をテーマに新津出身の作家・故北川諒治さんの作品の朗読や写真家・佐々木齊さんと元長岡駅長・山田昌平さんとの対談が行われたほか、パイオリンと箏の生演奏も行われ参加者を楽しませていました。



一小・三小の6年生が一足早く交流会

1月22日、4月から第一中学校で一緒になる第一小学校と第三小学校の6年生の交流会が、第一小学校体育館で行われました。

この交流会は、両校児童が中学校入学前に出会う場をつくって、新しい学校生活がスムーズに迎えられるようにと両校PTAが協力して開催したものです。最初のうちは、初対面の相手とのレクリエーションゲームで戸惑っていた様子の子どもたちでしたが、終わった後はすっかり打ち解けていました。



これからも女性の目がまちを輝かせます

2月8日、女性懇話会が市長に提言書を手渡しました。女性懇話会では設置された平成5年から、女性の視点をまちづくりに反映させようと、1年の任期でテーマを決めて意見交換をし、提言を行ってきています。今回の提言書には、10年前の第1回提言「花と緑あふれるまちづくり」が現状においてどのような経過をたどってきたのかといった検証を踏まえた、これからのまちづくりに向けた方向性がまとめられています。



多彩なアートが待っています



総合芸術空間

新津市美術館

- ところ 新潟県新津市蒲ヶ沢 花と遺跡のふるさと公園内
- 開館時間 午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)および年末年始
- 問い合わせ ☎0250-25-1301



突然ですが、お二人の出会いには？
俊郎さん(以下、⑥)私は、新津生まれの新津育ち。彼女とは、同じ東京農大の先輩・後輩として知り合いました。
利恵さん(以下、⑦)私は、東京生まれの東京育ちです。結婚を機に新津へやって来ました。
「農業をやるう」と決めたのは？
⑥聞き手ががっかりすると思いますが、東京農大に入ったのは上京したからからです(笑)。

両親から「東京へ行きたいなら農学部！」と言われたので(笑)。でも、農家を継いでくれ」とは言われなかったですね。大学卒業後も東京で、六年ほど損害保険の仕事をしていました。
対人交渉の仕事も好きでしたが、単純に農業は楽しそうだし、思いましたし、結婚して子どもを育てる環境を考えたら、この選択になりました。
結婚して、新潟に移り住むことに抵抗はありませんでしたか？
⑦両親も東京出身だったので、私にはいわゆる「田舎」というものがなかったんです。特別大きな憧れはなかったけど、逆に先人観もなく受け入れました。ただ、東京では交通の便の良さからペーパードライバーだったので、運転は特訓しました(笑)。



夫婦で向かい合って座り、アイデアを出し合いながらホームページを作る。

結婚前は、生協で商品の企画に携わっていました。この家で家族が適材適所で仕事をするので、私は経理や販売、ホームページの作成をしています。
「去年は、自然災害が多かったですね」
⑥水害ももちろん怖いですが、昨年の場合「台風」が痛かったですね。熱風のために、一晩で作物がやられてしま...

まいりました。自然には勝てない...。そこが本当に難しいです。でも、自分の育てた作物を「美味しい！」と喜んでもらった時、農業をしていてよかったと感じます。
「新津の農業の「良いところ」は？」
張らなくてはならないところ」は？
⑦年配の方がみんな元気で楽しく農業しているところは、いいですね。その反面、若い農業経営者が少ないんです。同じ年代の者同士の競争や、刺激し合うといったことがどうしても少なく、ちょっと寂しいです。
「素朴な雰囲気のある農園のホームページが好評そうですね」
⑦家族からの提案で、初心者だったのですが、本を読みながら立ち上げました。
見る人が自然を感じられる、お母さんと子どもと一緒に楽しめる、そんなスタンスを大切にしています。管理栄養士の資格を生かして、食への提案など



枝のせん定作業で忙しい冬は、春に何を作物するか考える楽しい季節でもある(真木野の柿園地)。

の情報も載せていこうと思っただけです。ぜひ一度訪れてみてください。
「これからの新津に、どんなまちになってほしいと思いますか？」
⑥多くの人が交流するまちです。今までの市町村の枠も取り払って、いろんな業界の人が手を取り合う、活気のあるまちになればいいですね。そこには、後からお金も付いてくる。これも重要だと思っています。
⑦「新津に住んで」と言った時に、「いいね」とうらやましがられるようになりますね。
「お二人の夢は何ですか？」
⑥私が育てた作物を妻が加工する農産物の加工所を作りたいです。あと、農業を通して子どもたちと交流し、「新津の良さ」「農業の良さ」をもっと知ってもらいたいですね。探求心を忘れず、「チャレンジする農家」でありたいです。

新津の「今」を伝えます

新津市内の各世帯に配布されている『広報にいつ』では、この欄に市内業者などの広告を掲載していますが、インターネット版『広報にいつ(PDFファイル)』では市からのお知らせなどを載せています。